

## 2 . 水切りによる生ごみの減量効果に関する調査

### 2 - 1 アンケート調査

#### ( 1 ) アンケート調査の概要

##### 【アンケート調査の概要】

アンケート調査対象者	中核市	41市
アンケート調査期間	平成24年3月12日(月)～3月21日(水)	
アンケート回収状況	37市 / 41市	回収率：90.2%
アンケート項目		

( 1 ) 過去に、生ごみの水切りモニター調査を実施していますか？

実施している場合 調査の概要を記入

実施していない場合 今後水切りモニター調査の予定があるか。

( 2 ) 生ごみの水切りに関する普及啓発の状況にお尋ねします。

生ごみ用の水切り器の無償配布等を行ったことがありますか。

はいの場合 配布年度、配布数、受取条件・内容を記入

いいえの場合 今後の無償配布の予定について

生ごみ用の水切り器の普及啓発方法(選択式)

〔項目〕 ア 広報誌・チラシによる情報提供

イ ホームページでの情報発信

ウ 出前講座の実施

エ 水切りモニター調査の実施

オ 環境教育での指導

カ その他(具体内容を記述)

( 3 ) 水切り器を普及促進していくために、取り組むべき課題(効果的な方法、改善すべき点)について意見(自由記述)

調査に使用したアンケート調査票は次に示すとおりである。

# 水切りによる生ごみ減量効果に関するアンケート調査

市名  担当部署名

**1. 過去に、生ごみの水切りモニター調査を実施していますか？** ▼ (選択してください)

"いいえ"と回答された場合、今後、水切りモニター調査の予定はありますか

▼

"はい"と回答された場合は、以下の水切りモニター調査の概要を記入ください。

**調査結果の概要**

実施期間			モニター数の概要			生ごみの水切り効果			
実施年	開始月日	終了月日	募集数	応募数	実施数	水切り器	実施前	実施後	減量効果
	月 日	月 日	(世帯数)	(世帯数)	(世帯数)	種類	(g)	(g)	(%)
例 平成23年	月 1 日	~ 月 31 日	9世帯	9世帯	9世帯	水切りダイエット	78,818	73,814	6.3%
		~				▼			
		~				▼			
		~				▼			
		~				▼			
		~				▼			

(例) 川越市におけるモニター調査結果

総実施数の全量で記入ください。

**(参考) 水切り器 (イメージ例)**



<http://www.city.setagaya.tokyo.jp/020/d00036219.html>
<http://store.shopping.yahoo.co.jp/ho-ei/45.html>
[http://www.new-material.com/news/news\\_i6\\_u1.htm](http://www.new-material.com/news/news_i6_u1.htm)

**2. 生ごみの水切りに関する普及啓発の状況にお尋ねします。**

生ごみ用の水切り器の無償配布等を行ったことがありますか。 ▼ (選択してください)

実施年度   
 配布数   
 受取条件の有無 ▼ 条件 (  )

実施予定 ▼

生ごみ用の水切り器の普及啓発方法について該当するものすべてに"レ"をつけてください。

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> ア 広報誌・チラシによる情報提供                                  | <input type="checkbox"/> エ 水切りモニター調査の実施 |
| <input type="checkbox"/> イ ホームページでの情報発信                                    | <input type="checkbox"/> オ 環境教育での指導     |
| <input type="checkbox"/> ウ 出前講座の実施   | <input type="checkbox"/> カ その他          |
| <input type="checkbox"/> その他記入欄 <input style="width: 100px;" type="text"/> |   |

**3. 水切り器を普及促進していくために、取り組むべき課題 (効果的な方法、改善すべき点) についてご意見ください。**

図 2 - 1 アンケート調査票

## (2) アンケート調査結果

1) 過去に、生ごみの水切りモニター調査を実施していますか？

### 【回答】

モニター調査を実施したことがある市は4市(10.8%)にとどまり、また“いいえ”と回答した都市において今後もモニター調査を実施する予定はないと回答したのは32市で全体の86.5%にのぼった。

また、モニター調査を実施した4市(宇都宮市、川越市、尼崎市、和歌山市)のうち、減量効果を把握しているのは宇都宮市と川越市だけであった。

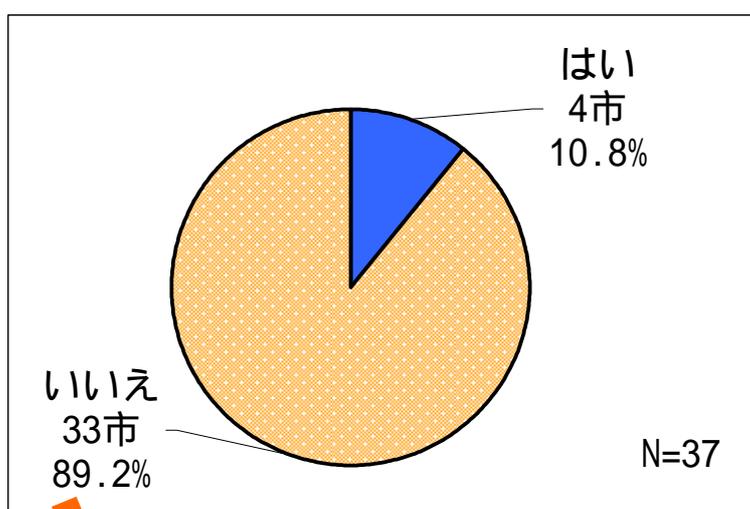


図 2-2 モニター調査の実施状況

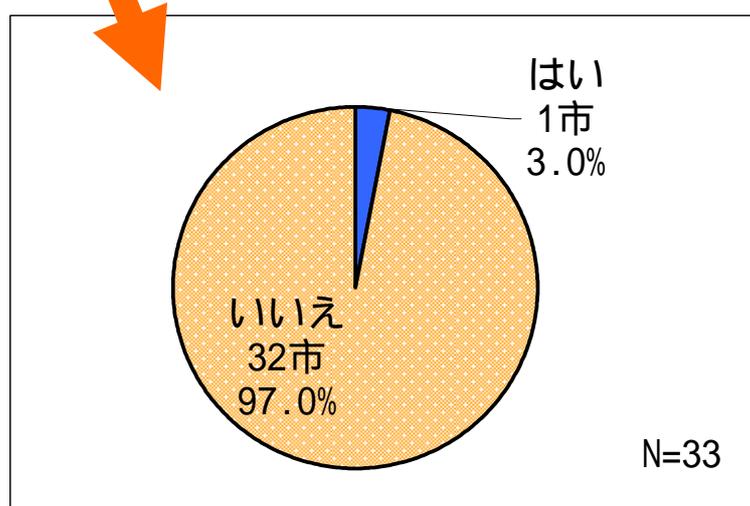


図 2-3 今後のモニター調査の実施予定

表 2-1 モニター調査による生ごみ水切り効果

	実施期間			モニター数				生ごみ水切り効果			
	実施年	開始月	終了月	募集数	応募数	実施数	種類	実施前	実施後	減量効果	
宇都宮市	平成23年	8月	8月	40世帯	51世帯	45世帯	水切りダイエット	165,345	149,523	9.6%	
川越市	平成23年	9月	9月	9世帯	9世帯	9世帯	水切りダイエット	78,818	73,814	6.3%	

2) 生ごみの水切りに関する普及啓発の状況にお尋ねします。

生ごみ用の水切り器の無償配布等を行ったことがありますか。

**【回答】**

水切り器の無償配布を実施した市は9市(24.3%)であった。また、無償配布していない都市(27市)のうち、今後無償配布する予定があるとの回答は2市(旭川市、大分市)のみであった。

水切り器を無償配布している都市を見ると、配布戸数は16戸(秋田市)~1,300戸(宇都宮市)とばらつきがあった。また、環境イベントなどの景品として配布している事例が多かった。

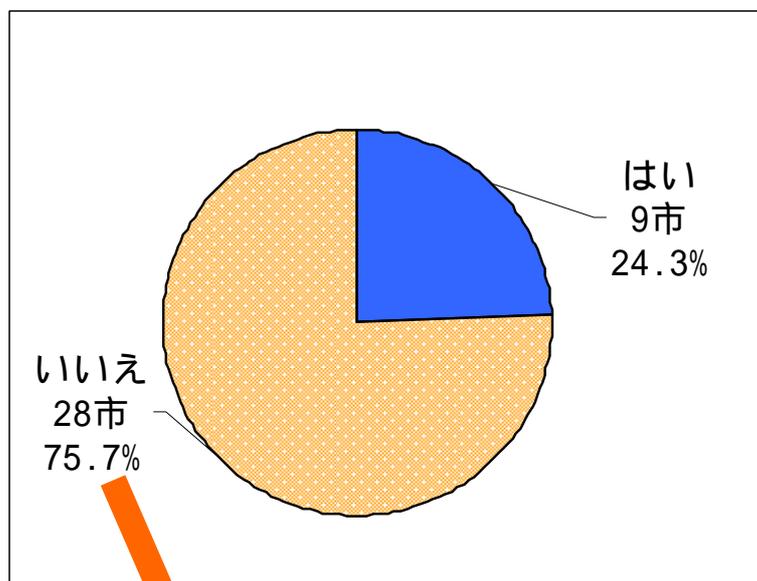


図 2 - 4 水切り器の無償配布の実施状況

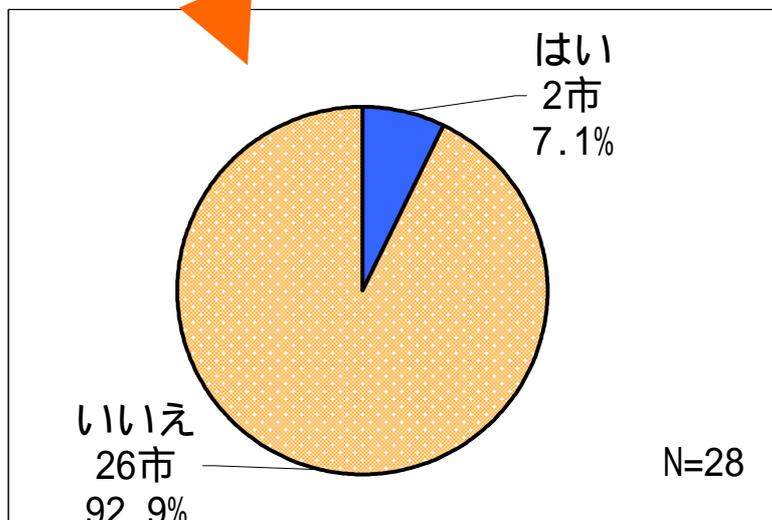


図 2 - 5 水切り器の無償配布の予定

表 2-2 水切り無償配布している都市の状況

	人口	配布年度	配布数	受取条件	内容
秋田市	323,600	H20	16	有	家庭で水切りの取組をおこなおうという意欲のあるかた
宇都宮市	511,739	H23	1,300	有	水切り体験モニター, ごみ分別ゲーム参加者 等
高崎市	371,302	H15	1,000	有	ごみ減量に関するアンケートに答えた人
川崎市	342,670	H23	9	有	環境推進員又は職員
尼崎市	453,748	H23	150	有	レジ袋削減キャンペーン実施時にアンケート回答者へ配布
和歌山市	370,364	H23	491	-	
福山市	461,357	H22	50	有	環境イベントでのアンケート調査への回答
長崎市	443,766	H23	114	有	環境イベント時の分別わなげ参加者
熊本市	734,474	H20	不明	無	

### 生ごみ用の水切り器の普及啓発方法（選択式）

生ごみ用の水切り器の普及啓発方法について回答が記入されていたのは11都市（29.7%）で、多くの都市では実施されていない。

普及開発方法としては、広報・チラシによる情報提供が6市、出前講座の実施と水切りモニター調査の実施がそれぞれ3市、ホームページでの情報発信と環境教育での指導がそれぞれ2市であった。

その他の意見としては、学習会や研修会での情報提供、ごみ分別冊子での情報提供などがあった。

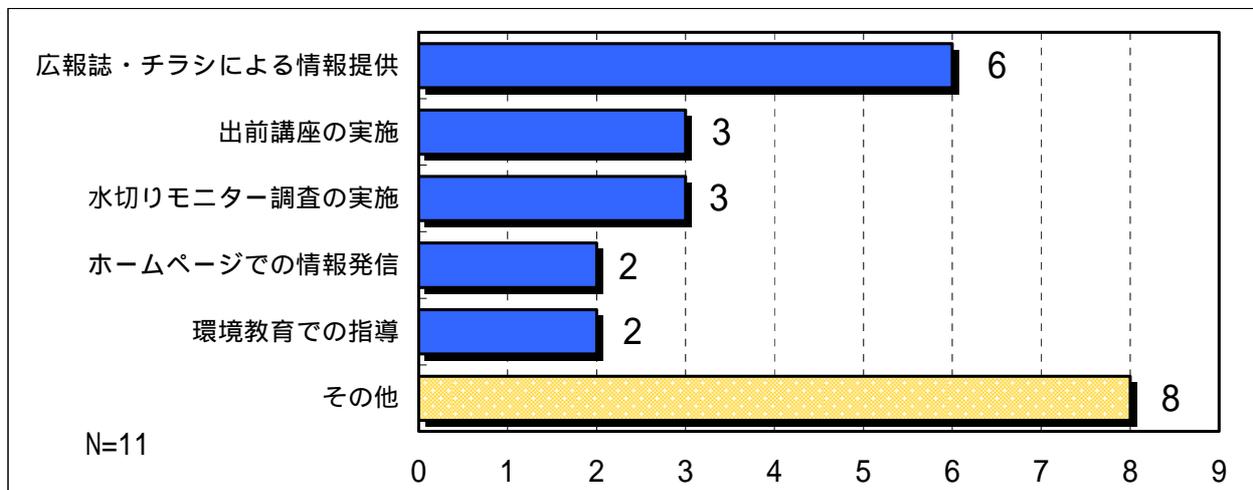


図 2-6 生ごみ水切り器の普及啓発方法

表 2-3 生ごみ水切り器の普及啓発方法（その他意見）

都市名	その他意見の内容
秋田市	家庭でできる生ごみ堆肥づくり学習会でPR
宇都宮市	リサイクル推進員研修会にて、生ごみ減量について啓発
高崎市	「消費生活展」にて情報提供
岡崎市	エコシール制度の報奨物品の一つとして配布
尼崎市	さわやか指導員研修会で紹介
福山市	毎年各世帯へ配布する、ごみ分別冊子の生ごみ減量ページで情報発信
長崎市	リサイクル推進員への研修会における情報提供及びチラシ配布
熊本市	市が実施する出前講座（水切り器に関するものではない）や有料化の説明会で市民に配っていた。

**(3) 水切り器を普及促進していくために、取り組むべき課題についての意見**

生ごみ用の水切り器を普及促進していくための課題について意見を求めたところ、6市から回答があった。

(岡崎市)行政と店舗とが協力し、生鮮食料品売り場等に水切り方法や水切り器の資料(例:看板等)を目に留まるような形で掲示してもらう。

(岡崎市)生鮮食料品売り場の一角に生ごみ水切り器を置いて手軽に買えるようにすれば、啓発だけではなく普及促進にも貢献する可能性がある。

(尼崎市)それぞれの家庭の人数、流しの大きさや形にあった商品を紹介していく。

(福山市)生ごみ減量の1つの方法として水切りがあるので、啓発が重要。広報誌や啓発チラシでの情報発信が必要。

(松山市)生ごみの減量策の1つとして、1人1人が取り組むことのできる方法での「水切り」について協力をお願いしている。

実際の自由意見の内容は次頁に示すとおりである。

表 2-4 水切りの普及啓発に関する自由意見

都市名	自由意見
岡崎市	本市はまだ実行できていないが、行政と店舗とが協力し、生鮮食料品売り場等に水切り方法や水切り器の資料（例：看板等）を目に留まるような形で掲示を依頼する。また、生ごみ減量につながる買い物方法（余分に買いすぎない、エコクッキング等）も合わせて掲載し、買い物客（主に食事作りをする主婦）への啓発をはかるのが効果的ではと考える。生鮮食料品売り場の一角に生ごみ水切り器を置いて手軽に買えるようにすれば、啓発だけではなく販売促進にも貢献する可能性もある。
大津市	当市では燃やせるごみの4割を生ごみが占めることから、家庭でできる簡単で効果的なごみの減量方法として、手でひと絞りにすることによる生ごみの水切りの呼びかけをHP、イベント、出前講座、パネル等により行っています。
尼崎市	・それぞれの家庭の人数、流しの大きさや形にあった商品を紹介していく（アンケート結果より） 本市では、今年度のさわやか指導員（廃棄物減量等推進員）向けの研修会にて水切りポットを紹介しました。さわやか指導員の方々から水切り器の利用を地域に広めていただくことが効果的と考えております。
西宮市	水切り器の取組みは行っていないが、今後の参考として集計をご恵与くださいますようお願い申し上げます。今後ともよろしく願います。
和歌山市	平成23年度単年で水切りモニター事業を実施しましたが、上記三角コーナー自体の性能評価ではなく、「濡れてないものを濡らさない」「濡れたものは、水切りネットで絞るだけではなく乾かすことも含めて水を減らす」「紙など資源になるものをごみに混ぜない」の3つのポイントを押さえて、総合的な生ごみ減量を啓発しました。モニターにはごみの重さを量っていただくことをしておらず、3つのポイントを実践してごみ袋の重さや臭いなどの改善状況を答えていただいたため、問1において水切り効果欄の値が空欄になっています。
福山市	生ごみ減量の1つの方法として水切りがあるので、啓発が重要。広報誌や啓発チラシでの情報発信が必要。
松山市	本市では、水きり器を活用した生ごみの水切りの普及啓発は行っていないが、生ごみの減量策の1つとして、1人1人が取組むことのできる方法での「水切り」について協力をお願いしている。また、イベント時等に、ごみの分別・リサイクルに関する啓発とあわせて「水切りゴミ袋（回収ペットボトルから作られた再生繊維を使用したもの）」を無償配布する予定である。（平成24年度）